

サステナブル社会実現に向けた 新規未来事業開発への道筋

～ソーシャルビジネス企業 × 大手旅行会社で実現した昆虫食教育事業～

- <講演内容>
- ・「旅する未来フード事業」の開発背景と経緯
 - ・新規未来事業として「昆虫食」が採択されるまでの経緯や苦労
 - ・MNHとのKNT-CTホールディングスの協働の経緯
 - ・「旅する未来フード クリッピー」商品開発の経緯と苦労
 - ・各人が事例から学んだ新規事業開発、そして企業連携のコツ ほか

<講師>



さとう ゆりか
佐藤 優麗香 さん

KNT-CT ホールディングス株式会社
社長室／未来創造事業担当



おざわ なおひろ
小澤 尚弘 さん

株式会社 MNH
取締役社長

2023. **9.25** (月)

15:00 ~ 17:00 (14:45 開場)

《会場》株式会社電通 (裏面をご参照ください)

<所在地> 東京都港区東新橋 1-8-1 電通本社ビル

<最寄駅> JR・地下鉄「新橋駅」

《参加費》5,000円 (当協会会員: 2,000円、学生: 1,000円)

《お申込み》<https://www.philanthropy.or.jp/seminar/411>
または右下のQRコードからお申込みください。



<開催趣旨>

各企業におかれましては、サステナブル社会実現に向けた新規事業の開発が大事な使命になっているようです。社会貢献を担当しているCSR 部署として、それを後押しする役割は意外と多いのではないのでしょうか？

今回は、サステナブルな新規事業開発に資するCSR 担当者の役割についてヒントとなる事例をご紹介します。老舗大手旅行会社 近畿日本ツーリストを傘下に持つ「KNT-CT ホールディングス」と、スタートアップのソーシャルビジネス企業「MNH」とのコラボによる「旅する未来フード事業」です。旅行会社であるKNT が食の事業を手がけるのは今回が初の試みとのこと。しかもかなり先進的分野である「昆虫食」（国産の食用コオロギの粉末を使ったお菓子）です。

SDGs 時代において、昆虫食事業が急速に広がりを見せている今、社会貢献と本業がつながることで、企業内外の理解促進・SDGs 事業や暮らしへの参加促進が期待できます。ただ、日常的な食習慣のない昆虫食を新規未来事業としていかに実現させたのか、さらに社内でいかに企画を通したのか、など気になるところです。今回は、その事例を通して、社内外における連携プロジェクト実現につながるプロセスを学び、CSR 担当部署の役割を再確認する機会として、奮ってご参加ください。

<講師プロフィール>

佐藤 優麗香（さとう ゆりか）

KNT-CT ホールディングス株式会社 社長室／未来創造事業担当

学生の時にオーストラリア留学を経験し、「旅は人生を豊かにする」ことを実感。この経験から「旅を通して子どもたちの選択肢を増やす仕事がしたい」という思いが生まれ、大学卒業後、教育旅行を得意とする近畿日本ツーリスト首都圏に入社。3年半修学旅行を始めとした教育旅行営業を担当。コロナをきっかけに「旅以外でも子どもたちの選択肢を増やす仕事がしたい」という思いで公募を受け、2021年10月から未来創造事業に携わる。

小澤 尚弘（おざわ なおひろ）

株式会社 MNH 取締役社長

東京都・西東京市出身。幼少期より音楽に親しんだことをきっかけに舞台を作り上げる裏方の仕事に就く。2011年、地域資源を活かした商品の企画・製造・販売事業を行う株式会社 MNH に入社。翌年、取締役社長に就任。社会課題を解決するビジネスモデル創出や、福祉作業所との連携して多様な人々が働ける場づくりなど、SDGs に貢献した仕組みづくり、商品企画・開発・食品製造を行っている。「みんなで（M）日本を（N）HAPPY（H）に！」という思いを軸にモノづくりを通したソーシャルビジネスを実践、誰もが喜びを感じて働ける社会の創造を目指し、HAPPY を循環させる活動に取り組んでいる。

【会場ご案内】

株式会社 電通

<所在地> 東京都港区東新橋 1-8-1 電通本社ビル

<最寄駅> JR・都営地下鉄浅草線・東京メトロ銀座線「新橋駅」
汐留シオサイト地下歩行者道経由で徒歩 5 分
都営地下鉄大江戸線「汐留駅」徒歩 1 分



引用元：株式会社電通ホームページ
<https://www.dentsu.co.jp/aboutus/tokyo/access02.html>